



打楽器と電子打楽器の音色を披露した演奏会
＝浜松市中区の静岡文化芸術大

進化続ける打楽器紹介

ヤマハと
ローランド 中区で室内楽演奏会

静岡文化芸術大(浜
松市中区)は2日、
室内楽演奏会「交差
する打楽器の世界」
を同大で開いた。ヤ
マハとローランドの担
当者が約130人の
来場者を前に、進化を
続ける打楽器の魅力
を披露した。

た。
ヤマハの桂浦誠さん
は、用途に応じて特徴
の異なる3種類のスネ
アドラムやティンパニ
ーなどを紹介した。製
法や構造などを説明し
ながら「アーティスト
の表現力を最大限引き
出す楽器を作り、多く
の人に触って聴いても
らう環境をつくりたい
」と述べた。
ローランドの西裕之
さんは、同社の電子ド
ラムや電子太鼓など
を取り上げた。電子技
術が打楽器の文化で果
たす役割について「一
台で多彩な音を出し、
生の楽器ではできない
表現が新しい価値にな
る」と語った。
打楽器と電子打楽器
による合同演奏も披露
され、来場者は独特の
音色を楽しんだ。